



【重点目標】「根拠をもって自分の考えをつくる子どもの育成」

なぜ、勉強をするのかな。

「勉強や授業って意味があるのかな？ ふつうの生活の中で、方程式や関数を使うことはないしな。」こんな疑問をもつ子どももいると思います。勉強することは楽しいことですが、ときには苦勞を乗り越えることも必要なので、子どもたちの中には「なぜ勉強するのだろう。」と考える子もいるだろうと思います。

勉強を、「暗記すること」「やり方を覚えること」というように考えてしまうと、「将来、使わないことはいらない。だから勉強は必要ない。」という話になってしまいます。ネットで「なぜ勉強するの」と検索するとたくさんのヒントが見つかります。それらを参考にしてもいいので、勉強について考えることは大事なことだろうと思います。

私は、「問題を解決する経験しておくこと」が大切だと思っています。例えば、子どもたちが、将来大人になって、起業し会社を設立するとしましょう。初めての時は起業の経験はありませんから、やる気はあってもどうしたらいいだろうと困るはずで、大きな問題です。しかし、それまでの経験を生かして、自分で考えたり人と相談したりしながら、調査をし計画を立て、必要な書類を取り寄せたり資金を集めたり発注したり、いろいろなことを積み重ねて目標に迫っていくはずで、

※ 裏面につづきます。

令和5年度後期が始まりました

本年度の後期が始まりました。子どもたちは落ち着きのあつた態度で始業式に参加し、しっかり話を聞くことができました。半年後は、6年生は中学生になり、他の学年の子どもたちは進級します。そのためにも今の学年で学ぶことを身につけておくぞという意欲を感じました。いろいろな場での活躍が楽しみです。



↑ 真剣に話を聞く子どもたち。



後期のめあてをつくりました

後期のスタートにあたり、それぞれの学級でめあてづくりが行われています。左の写真は、2年生の後期のめあてです。「発表をがんばります」「あいさつをします」など、自分を高めようとする言葉が並んでいます。どの学年の子どもたちも、学習や生活のめあてを立て、めあての達成ができるようがんばっていきます。

※ おもて 表のつづき

しょうがっこう きぎょう しかた がくしゅう もんだい かいけつ がくしゅう おこな かくきょうか
小学校では、起業の仕方は学習ませんが、「問題を解決する学習」を行っています。各教科で
がくしゅう ないよう た かいけつ みとお じょうほう あつ じぶん かんが
学習する内容について、めあてを立て、解決までの見通しをもち、情報を集めて自分の考えをつく
り、まわりの人と話し合い、自分なりの解決法を見つけ、解決までの道すじをふりかえるというよう
なが けいけん
な流れを経験していきます。

しょうがっこう じかん じかん もくひょう ちい さんすう ざん ひっさん りか
小学校の1時間1時間の目標は小さなものであり、算数の「かけ算の筆算」であったり理科の
でんりゅう なが かた ちい もくひょう
「電流の流れ方」であったりします。しかし、その小さな目標について、わかったりできるようにな
たりするために、解決までの流れをくり返し経験します。その中で、インターネットや図書資料をつか
じょうほう しゅうしゅう せいり こうさつ しかた ひと はな あ かた じぶん かんが
った情報の収集や整理・考察の仕方、まわりの人との話し合い方、わかったことや自分の考えのま
かた はっしん しかた もんだい かいけつ ひつよう ちから すこ み
とめ方や発信の仕方など問題を解決するために必要な力を少しずつ身につけていきます。

たん ちしき かくとく い ちから み たいせつ
単なる知識の獲得ではなく、このような生きてはたらく力を身につけることが大切であり、そのた
め じゅぎょう べんきょう かんが
めに授業があり勉強をするのだと考えています。

せきしょういだい
「積小為大(せきしょういだい)」とは、まいにちまいにち ちい どりよく つ かせ おお せい か
「毎日毎日の小さな努力の積み重ねが大きな成果につな
がる」という意味の言葉です。この言葉のように、子どもたちには、ひび じゅぎょう たいけん たいせつ
日々の授業や体験を大切にして
ほしいとおも
おも
ほしいと思っています。